

第5章 多くの人々が参画するバリアフリーへの取り組み

5-1. バリアフリー化に向けた連携・協力

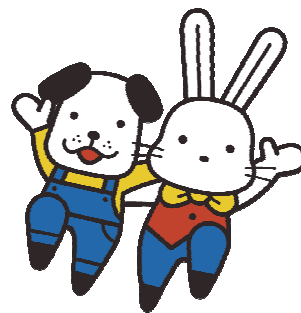
本市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にバリアフリーニーズを掘り起こし、官民一体となったソフト・ハード両面のバリアフリーを実践することにより「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現を目指します。

さらに、この行動を東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーのひとつとして次世代へつなげていくことを目標に、まち歩き点検やヘルプマークの普及などバリアフリー推進パッケージの取り組みの中で、ユニバーサルデザインによるまちづくりおよび心のバリアフリーを推進します。

また、バリアフリーの推進に関する本市の取り組みの趣旨・目的に賛同し、連携・協力をいただける民間事務所や団体の皆様を「バリアフリー推進パートナー」とし、官民一体となったソフト・ハード両面のバリアフリー化を促進します。

【バリアフリー推進パートナーの主な役割】

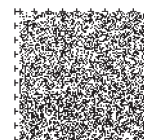
- ① アンケート調査等へのご協力
- ② バリアフリー推進パートナーミーティングへの参加
- ③ バリアフリー推進パートナーステッカー掲示
- ④ バリアフリー事業の実践
- ⑤ 取り組み事例の情報発信など



【参考】バリアフリー推進パートナー 263団体（令和3年3月末現在）

① 保育園・学校・大学	94団体	② 一般企業	70団体
③ NPO法人	26団体	④ 行政機関	6団体
⑤ 自治振興協議会	27団体	⑥ その他各種団体	40団体

担当課：地域福祉課・交通政策課



バリアフリー推進パートナー証

〇〇〇〇 様

貴社（団体）は、福島市が目指す「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現の趣旨に賛同し、バリアフリー推進パートナーとなることを宣言されました

バリアフリー推進パートナーとして、福島市と共にハード・ソフト両面でのバリアフリー化の取組みを推進していきましょう

令和元年9月30日

バリアフリー推進パートナーリーダー

福島市長 木幡 浩



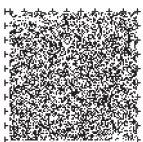
【参考】バリアフリー推進パートナー証



【参考】バリアフリー推進
パートナーステッカー



【参考】バリアフリー推進パートナーキックオフミーティング（令和元年9月30日）



担当課：地域福祉課・交通政策課